

第20回南風原町青少年国際交流事業のカタナダ

南風原町では、青少年を海外に派遣し、教育・文化等の視察学習やホームステイ及び現地公立校への体験入学を通して、国際化時代に対応しうる青少年の育成を目的に、国際交流事業を行っています。

平成5年にスタートした同事業は、カナダ国レスブリッジ市とアメリカ合衆国ハワイを交互に訪問し、これまでに207名の青少年が参加してきました。

今回の国際交流事業には、団員として町内の中学生10名が参加しました。赤嶺正之教育長を団長に引率者3名、団員10名の計13名の国際交流団は10月30日から11月8日の10日間の日程でカナダを訪問しました。



カナダ研修では、カナダ在住の多くの沖縄県人会のみなさんにお会いしました。県人会の皆さんは私たち国際交流団を空港で出迎えてくれたり、私たちが

のために手作りのお料理で夕食会を開いてくれたりと、とても歓迎してくれました。夕食会ではカナダでの生活について教えてくれたり、ウチナーグチと英語をチャンプルーしたお話が聞けたりと本当に楽しかったです。

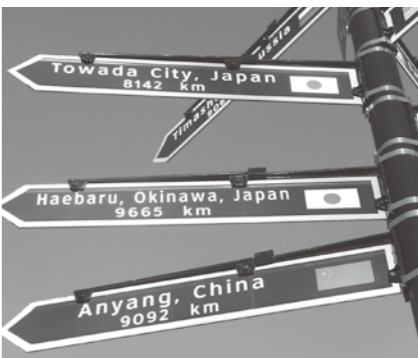


MAKISHIさんのお墓を訪ねて

この写真は、1900年に沖縄からカナダへ初めて移住したMAKISHI! ANNOさんのお墓の前で撮りました。私たちが国際交流事業を通してカナダに行くことができたのも、カナダ移民の方々のおかげであることに感謝しながらお墓に手を合わせました。

◇友好都市の証

この標識は、レスブリッジ市の姉妹都市・友好都市の方向と距離を示しています。その中に、私たちの住む南風原町の名前も刻まれています。2000年の九州沖縄サミットの際に、南風原町がカナダの首相を迎えたことをきっかけに、南風原町とカナダの交流が始まりました。その後、



2003年に南風原町はレスブリッジ市と友好都市関係を結び、今年10周年を迎えました。



◇市長表敬訪問

レスブリッジ市長を表敬訪問しました。クリス市長は、今年の10月に新しく市長になったばかりで大変忙しい中でも時間を割いてくれ、友好都市として大切に思ってくれているんだと感じました。1人1人と記念写真も撮ってくれたし、プレゼントもいただきました。クリス市長は、これからも交流を続けていこう、レスブリッジ市の生徒を南風原町に派遣できるようにすると嬉しい」と話していました。これからもレス

◇体験入学



ブリッジ市とのつながりに感謝し大切にしたいと思っています。

11月4日から6日の3日間はミドルスクールでの体験入学でした。沖縄と違う所を紹介します。まず、授業が始まる前に「カナダ国歌」が流れていました。また、音楽室や演劇室があるし、カギ付のロッカーもありました。パソコンや料理、演劇などいろいろな選択授業があり、自由に時間割を組むことができました。また、制服がなく、生徒たちは自分の好きな私服を着て登校していました。給食もなくカフェテリアでランチを購入し食べていました。

また、授業中お菓子を食べたり、席を立て歩いてもらうことに驚きました。日本に比べて自由な授業スタイルでしたが、生徒たちは意見があれば積極的に発言して下さる感じが感じました。

体験入学最終日には、沖縄と南風原町を紹介するスライド発表と沖縄の踊り3曲を披露しました。最後はウィルソンミドルスクールの生徒達に教えないで一緒に沖縄の踊りを踊って盛り上げました。



2013.11.06

がりました。体験入学では、沖縄の中学校との違いを身近で体験する事ができ、言葉が英語だけの時間を過ごした事で言葉が出てこなくてもどうにか工夫して伝える方法と度胸がつかえました。

◇ホームステイ

初めて顔を合わせた時はとても緊張していましたが、積極的に声をかけてくれたし、私達に伝わるようにゆっくりと話したり、簡単な単語で言い換えてくれました。心から歓迎されているんだなあと感じました。

アイスホッケーの試合など、色々な場所へ連れて行ってくれ、私達たちを楽ませようとしてくれていたのがとても伝わりました。ポーポーを作ったら「おいしい」と食べてくれてとても嬉しかったです。

さよならパーティーでは、手作り料理がとてもおいしくて嬉しかったです。最後に一緒にカチャーシーを踊り、「また会おうね」帰ったら連絡してね」と言ってくれました。お別れの日は、寂しかったけど、ホストファミリーと過ごした一つ一つのことが決して忘れられない思い出になりました。

国際交流事業を通して、学んだこと、考えたこと

町内の中学生10名がミドルスクールへの体験入学や5家庭に分かれてホームステイを体験し、多くのことを学びました。



みやざと かのん 宮里 花音 南風原中学校3年生

私はこの研修で、カナダの良い文化や壮大な自然を見て感じる事ができました。異文化をお互いに尊重し、特色を保持したまま共存することができるとはすごいことだと思います。お世話になった方々に心から感謝をし、このたくさんさんの経験を私の未来に生かしたいと思います。



きんじょう もも 金城 萌 南風原中学校3年生

ホストファミリーやミドルスクールの友達や先生方は、親切に笑顔で接してくれました。私が話す片言の英語も一生懸命聞いてくれ、伝わることも嬉しく自信にも繋がりました。カナダでの日々は、毎日が充実していて最高の10日間でした。もっと英語を勉強し、またカナダに行きたいです。



やまかわ りょうこ 山川 涼子 南風原中学校3年生

カナダでの研修は、沖縄との文化の違いに直面する毎日でした。特にホームステイでは、現地の方と英会話するのに慣れず戸惑っていましたが、積極的に話しかけていけばちゃんと伝わるようになった事が嬉しかったです。この研修では自分自身を大きく成長させることができました。と思います。



いしみね まこ 石嶺 まこ 南風原中学校3年生

私は、国際交流に参加して、違う文化や生活習慣を学ぶことが出来ました。その結果、将来の視野が広がり、日本だけでなく海外に関係する仕事に興味が出てきました。このような普通の旅行では出来ない貴重な体験をさせていだき、ありがとうございました。



なかもと せいや 仲本 征矢 沖縄尚学高等学校 附属中学校3年生

僕はカナダが初めての海外だったのでとても緊張してしまい、大変でした。ハウインでは、本格的な衣装や家がたくさんあってすごかったです。ホームステイと体験入学では、英語だけの生活でしたが友達が多かったので良かったです。とても良い経験だったので、機会があればまた参加したいと思います。



みやぎ たくや 宮城 卓也 南風原中学校3年生

カナダでは沖縄で体験することのできない雪や初めて見る紅葉など広大な自然の中、人々の交流を通してカナダのことを学ぶことができました。カナダに行ったことで心身共に成長できたと思います。向こうで学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。



きんじょう まなほ 金城 舞菜穂 南風原中学校3年生

私は、国際交流を通して沖縄では観ることの出来ない美しい景色を眺めても感動しました。また、ホームステイやミドルスクールを体験してコミュニケーションの取り方を学ぶ事ができ、私自身がとても成長することができたとても良い体験でした。



やまぐち だいすけ 山口 大介 南風原中学校2年生

僕は国際交流事業で10日間、カナダに行きました。カナダはとても寒くて、雪も降っていました。カナダではホームステイなどで、現地の文化などに触れることもでき、沖縄とは全く違った事もありました。また、空手道場で空手も披露しました。良い経験になりました。



しろま りほ 城間 梨歩 南風原中学校3年生

私は、国際交流事業に参加して良かったと思います。自分の英語力はまだまだだと実感させられる事ばかりでしたが、自分から積極的に英語で話しようという、積極性は少し身につきました。カナダで学んだことをこれから生かしていき、支えてくれた周りの人への感謝の気持ちも忘れずに過ごしていきたいです。



あかみち りゅうく 赤嶺 竜久 南風原中学校3年生

僕はカナダに行くと、自然の雄大さと、人々のフレンドリーさに感動しました。また、ホームステイ先のキング家にはとても優しくしてもらい、とても良い思い出になりました。カナダのどの場所も最高でした。国際交流プログラムは僕の人生を大きく変えたと思います。



津嘉山自動車学校

サンエーつかざんシティより八重瀬町向け 200m
〒901-1117 南風原町字津嘉山 593-1
TEL.889-5542 ☎ 0120-489052

タクシーのご用命は

松山タクシー ☎855-2141

大南タクシー ☎855-2114